（組み込みソフトウェアのサンプル）

職 務 経 歴 書

20xx年xx月xx日現在

氏名　○○ ○○

■職務要約

株式会社○○○○○に入社後、x年間にわたって組み込みソフトウェアエンジニアとしてソフトウェア開発に従事しています。自動車の物体認証システムやデバイスドライバの開発、ヘルスケア製品のユーザー認証システムのプロジェクトに携わり、顧客との要件定義からソフトウェア実装まで一連の流れを経験。プロジェクトリーダーとしてチームのマネジメントや全体のスケジュール管理を行いながら、顧客の新製品開発などに貢献してきました。

■活かせる経験・知識・技術

・センサでの認証システム開発

・デバイスドライバの開発

・xx名程度のマネジメント経験

■職務経歴

|  |
| --- |
| 20xx年xx月～現在　　株式会社○○○○○ |
| 事業内容：電子機器設計・電子部品製造業資本金：x千万円（20xx年xx月）　売上高：x億x千万円（20xx年xx月）従業員数：xxx人　上場：未上場 | 正社員として勤務 |
| 20xx年xx月～現在 ／ ○○部　自動車周辺の物体認識システムの開発 | 開発環境 | 規模／役割 |
| 【プロジェクト概要】自動運転における自動車周辺のセンサ、物体認識システムを開発【担当業務】・顧客との要件定義・基本設計・詳細設計・試作機の開発・スケジュール、リソース管理【実績・取り組み】顧客との要件定義から現場で担当し、プロジェクトのリーダーとして新製品の開発に貢献しました。 | 【OS】WindowsLinux【言語】CC++アセンブラ | 全xx名リーダー |
| 20xx年xx月～20xx年xx月 ／ ○○部　カーナビシステム開発 | 開発環境 | 規模／役割 |
| 【プロジェクト概要】カーナビの通信モジュールを動かすデバイスドライバを開発【担当業務】・顧客との要件定義・基本設計、ソフトウェア詳細設計、検証・ソフトウェアメンテナンス【実績・取り組み】検証を繰り返し行い、既存製品よりリアルタイムでの情報収集の性能xx％向上を実現しています。 | 【OS】WindowsITRON 【言語】CC#ASM | 全xx名サブリーダー |
| 20xx年xx月～20xx年xx月 ／ ○○部　自動認証のシステム開発 | 開発環境 | 規模／役割 |
| 【プロジェクト概要】ヘルスケア製品の新規開発における自動認証システムの開発を担当【担当業務】・センサのベンダー選定、ベンダーコントロール・ソフトウェアの詳細設計、検証、実装【実績・取り組み】ベンダーの選定から、要件定義や実装部分の一連のフローまでを担当。ベンダーや社内での調整を実施し、円滑な製品開発に貢献しています。  | 【OS】Windows【言語】CPythonJavaScript | 全xx名メンバー |

■テクニカルスキル

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 種類 | 使用期間 | レベル |
| OS | Windows | x年xカ月 | 環境設計・構築が可能 |
| Linux | x年xカ月 | 環境設計・構築が可能 |
| ITRON | x年xカ月 | 環境設計・構築が可能 |
| 言語 | C | x年xカ月 | 最適なコード記述と、指示、改修が可能 |
| C# | x年xカ月 | 最適なコード記述と、指示、改修が可能 |
| C++ | x年xカ月 | 最適なコード記述と、指示、改修が可能 |
| アセンブラ | x年xカ月 | 最適なコード記述と、指示、改修が可能 |
| ASM | x年xカ月 | 最適なコード記述と、指示、改修が可能 |
| Python | x年xカ月 | 最適なコード記述と、指示、改修が可能 |
| JavaScript | x年xカ月 | 最適なコード記述と、指示、改修が可能 |

■資格

|  |  |
| --- | --- |
| 普通自動車第一種運転免許 | 20xx年xx月取得 |
| TOEIC Listening & Reading Test xxx点 | 20xx年xx月取得 |

■自己PR

＜幅広い領域の経験＞

開発担当としてソフトウェアの要件定義から詳細設計や実装まで幅広く経験しています。ベンダーとの共同開発や、顧客先での要件定義の打ち合わせも担当し、細かなスケジュール管理や仕様説明にも取り組んできました。ソフトウェアの開発、実装までできる人材が少ないため、社内での勉強会や他のプロジェクトにもすすんで協力してきました。幅広い経験を活かし、社内外で円滑にプロジェクトを進められています。

＜チームのスキルアップのためのマネジメント力＞

プロジェクトの推進をする上で、チームメンバーの成長にも配慮しています。経験の浅い担当者を顧客先に積極的に同行させることや、各メンバーのレベルに過不足ない案件の振り分けを意識しています。メンバーのスキルアップのために、さまざまな領域へ挑戦できる環境を整備しています。また、メンバーが持っている案件の進捗管理も徹底し、これまでトラブルなく進められてきました。

以上